

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 LIXIL 尾道工場

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市長者原二丁目165番地

(3) 業種

弁・同付属品製造業

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27（2015）年度を基準年度とし、令和7年（2025）度から令和12（2030）年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

当工場は、水栓金具の製造活動を通して、社会に貢献すると共に、生産活動を始めとした我々の全ての行動が地球環境を守る活動となることを目指し、下記の事項を定めます。

1. 事業活動における環境側面を洗い出し、評価し、何がどの程度環境に影響を与えているかを的確に把握します。
2. 汚染を防止・低減・管理するための工程や操作の採用で汚染を予防すると共に、環境保全活動のシステムと環境方針、目的・目標にもとづいて行われる活動の結果の継続的な向上を図ります。
3. 当工場が行なう活動に関連する環境関連法や条例、(株)LIXILの環境基本方針、尾道市との協定、尾道工場が同意する地域住民からの要請などの利害関係者からの要求事項を明確にし、遵守します。
4. 環境目的・目標、改善計画を定め、定期的に工場の環境方針と共にこれを見直し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
5. 当工場の全従業員が基本的な考え方を認識し、工場環境方針に沿った行動をとるように従業員を教育します。
6. (株)LIXIL尾道工場の環境方針は、社外からの要求、その他の必要に応じ公表します。

瀬戸内海国立公園に隣接するという立地条件を考慮し、当工場が行なう活動を通じ、省資源・省エネルギー・廃棄物の削減を行い、健全な環境の維持・向上に努めます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成27（2015）年度	令和6（2024）年度
二酸化炭素	6,772	7,308

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成－（－）年度	令和－（－）年度
二酸化炭素	—	—

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成－（－）年度	令和－（－）年度
メタン	—	—
一酸化二窒素	—	—
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)	—	—

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成－(－)年度)	削減目標		目標年度 (令和－(－)年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	—		—	
非エネルギー起源CO ₂	—		—	
メタン	—		—	
一酸化二窒素	—		—	
その他 温室効果ガス	—		—	
温室効果ガス 実排出量総計	—		—	
温室効果ガス みなし排出量	—	—	—	
目標設定の考え方	—			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産高(百万円)

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量(kg等)、削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27 (2015) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和12 (2030) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	6,772	7,320	0.9	15.1	7,150	9,000	0.79
非エネルギー起源CO ₂	—	—			—	—	
メタン	—	—			—	—	
一酸化二窒素	—	—			—	—	
その他 温室効果ガス	—	—			—	—	
総排出量	6,772	7,320	0.9	15.1	7,150	9,000	0.79
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	2,358	7,320	0.32	15.8	2,441	9,000	0.27
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	炉中ろう付け生産サイクルタイムUPによる消費電力の削減	28,680kg-CO2/年の削減	・投入ワークの個々の間隔を狭めることで、稼働時間を3割削減
2	自動研磨機のエアー使用量削減	27,591kg-CO2/年の削減	・自動研磨機（3台）に電磁弁を追加し、設備稼働時のみエアー使用に変更した
3	鍛造機エアー式油吸引機作動時間短縮による消費電力削減	15,820kg-CO2/年の削減	・吸引機（2台）に電磁バルブを設置し、稼働時間を短縮
4	—	—	—

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	—	—
2	—	—
3	—	—

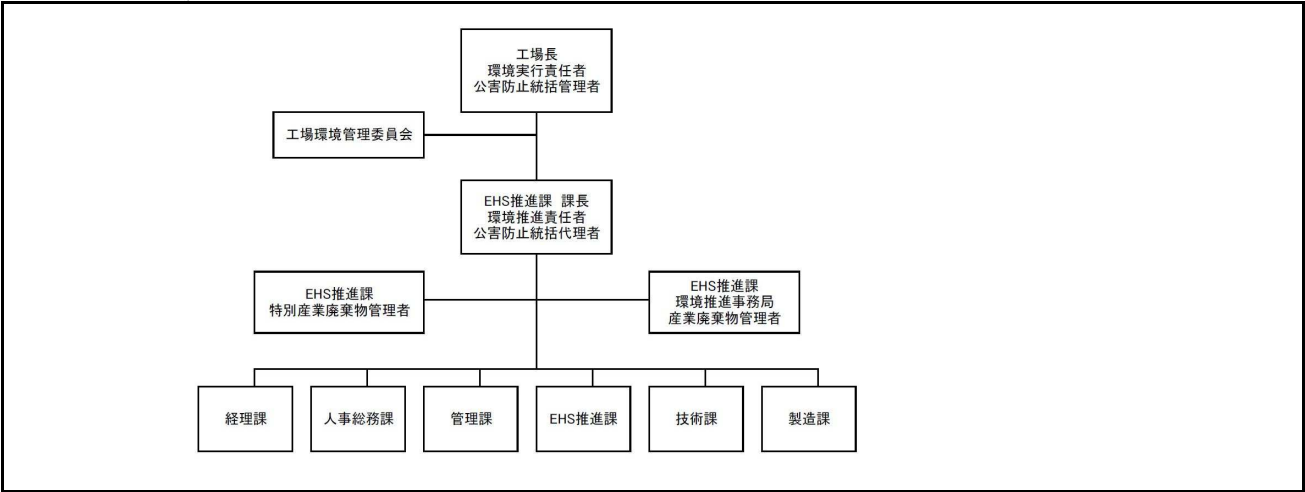
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	—	—	—
2	—	—	—
3	—	—	—

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

・工場内委員会を通して状況の点検・評価を行う。

(3) 計画書等の公表

工場内ホームページにて公開する。

